



年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます

事業主、並びに加入者の皆様には、お健やかに新年をお迎えの事と、お慶び申し上げます。

厚労省発表の2024年度概算医療費は、過去最高の48.0兆円となっています。この中で、健保連発表の2024年度の健保組合全体の決算見込みは、賃金上昇や保険料率の引上げにより、保険料収入が対前年度+4.9%となった事で、経常収支は前年度の▲1,365億円の赤字から、145億円の黒字となりました。しかし、約半数の組合は赤字である事や、拠出金の伸び率は対前年度+5.7%と保険料収入を上回っており、今年度は団塊の世代が75歳以上になる事から、拠出金負担は一層重くなり、組合運営は一段と厳しさを増すと思われます。

また、健保業務関連の大きな変化として、2025年12月1日での健康保険証の廃止があり、受診する際にはマイナ保険証を使用する仕組みになりました。当健保では引続きマイナ保険証への切替えをお願いするとともに、利用未登録の方や、マイナ保険証の使用が難しい方などには、マイナ保険証代わりの期限付きの「資格確認書」を交付し対応いたします。

一方、当健保の医療費や拠出金も前述の状況下で増加傾向にありますが、皆様のご協力により、今年度も黒字決算を達成できる見込みで、安定した財政や健全な運営を維持し続ける事が出来ております。但し、コロナも相変わらず懸念されている状況で、一人ひとりの健康管理が一層重要になっています。感染対策を継続し、併せて、健康的な食生活や十分な睡眠を確保する事で、免疫力の向上を図り、感染症に強い身体作りをするよう、お願いいたします。

なお、当健保は2026年4月に設立20年となります。設立以降一貫して、健康作り、疾病予防・重症化予防等の取組みをデータヘルスの強化と併せ推進してきました。これからも、本来の役割である皆様の健康支援を継続してまいりますので、皆様も、健康維持増進の為に、保健事業への参加(健診を受け、ご自身の健康状態を把握し、特定保健指導や再検査などの対象となった場合は必ず対応する)や、ヘルスリテラシーに基づいた行動(生活習慣の改善に留意し、健康状態の改善)をお願い致します。

最後に皆様の健康で健やかな1年となります事を祈念致します。

アビーム健康保険組合 理事長 林崎 齊

